



NEWS

Fukuoka Foreign
Trade Association

福岡貿易会 会員広報誌

発行・編集／社団法人 福岡貿易会
〒812-8505福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7階
TEL.092-452-0707 FAX.092-452-0700
E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp

vol.18

新年明けましておめでとうございます。



年 頭 ご 挨拶

社団法人 福岡貿易会
会 長 並田 正一

「新年、明けましてお目出とうございます。」

会員の皆様には平素より会の運営、発展にご協力を賜わり有難うございます。

昨年はリーマン・ショック後の落ち込みからようやく景気が回復の兆を見せて来ましたが、政局の混迷や円高、補助金の縮減などで今年は予断を許さない状況です。

このような中で景気立て直しの為の経済振興の柱として外需の取り込みが急務となりつつあります。福岡市を中心とする北部九州地区におきましてもクルーズ船の寄港拡大など様々な面で海外との一層の交易、交流の拡大を目指すことにより地域経済の活性化を図る動きが強まっております。

福岡貿易会としましても当会の原点であります「地域貿易の振興」をベースに、時代の要請に対応し広い意味での海外ビジネスをサポートすることが、地域経済の浮揚を実現する最重要課題と考えております。

会員数も昨年末で280社を上回って来ており、地域の国際ビジネス振興機関として福岡市ほか関係諸団体、在福外国公館との連携を密にするとともに、会員サービスの中身を強化することで地域における海外ビジネスのソフトウェアを充実させたいと思っております。

新しい年になり、ハードウェア面では博多港の更なる強化、福岡空港の追加滑走路の早期実現推進などが期待されます。当会としても引き続き海外視察、セミナー、相談事業、講演会等々をより充実することで会員の皆様のご期待に応えて行く所存でございます。

最後になりましたが会員の皆様にとりまして今年が充実した良い年になることを祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

年頭ご挨拶	(社)福岡貿易会会長 並田正一	表紙
年頭ご挨拶	福岡市長 高島宗一郎 氏	1P
平成22年度	会員交流会報告	2~3P
セミナー報告	今後開催予定のセミナー	4~5P
トピックス	「ラオス全権大使・ラオス留学生を囲む交流会」の開催	5P
九州・福岡と世界の貿易国・地域①	—台湾—	
寄稿	台湾貿易センター福岡事務所所長 林 俊杰 氏	6P
会員企業紹介		裏表紙



市長年頭挨拶

福岡市長 高島宗一郎



新年明けましておめでとうございます。

多くの皆様の厚いご支援を賜り、昨年12月に、第35代福岡市長に就任いたしました。

着任早々に、福岡貿易会会員交流会において多くの会員企業の皆様とお話しさせて頂く機会を頂戴しました。地元企業の皆様からの激励と期待のお言葉を受け、私は、今、文字どおり身の引き締まる思いで、九州をリードする都市の市長職という極めて重要な職責の重さを痛感しております。若輩者ではありますが、その若さを行動力の源とし、スピード感をもって政策実現に向けてチャレンジして参る所存です。

昨年を振り返りますと、日本経済は依然として長期にわたる低迷から脱却できず、少子化に伴う人口減少とも相まって、全国的に景気は足踏み状態にあり、足元の雇用環境に改善の兆しは見えません。特に、地域経済や中小企業の経営環境は非常に厳しいものがありますので、迅速に対策をとり、しっかりと下支えしてまいります。

さて、福岡市は、市民の皆様のおもてなしの心や、豊かな自然、充実した都市機能によって、世界で最も住みやすい都市の一つとして高い評価を得ております。福岡市ほど人と環境と都市機能の調和が取れているまちは他にありません。私は、このまちがアジアのリーダー都市になることを目指すため、「福岡のまちに元気を取り戻したい」という熱い思いで一杯です。

そのためには、成長を続けるアジアの活力を取り込む必要があると考えておりますが、福岡貿易会は、昭和33年に設立されて以来、半世紀にわたって、セミナーや研修会の開催、貿易相談の実施、また、上海事務所の運営などを通じて、アジアをはじめとした国際ビジネスの振興や地域経済の発展に多大なるご貢献をいただいております。グローバル化が進展する国際情勢下においては、地場企業の皆様からの多様な要望に対応する福岡貿易会の役割が、今後ますます重要になっていくことと思っております。

今日の本市の財政状況は極めて厳しい状況にありますが、私自身、今後の福岡の発展のためにビジネス成長戦略の推進が極めて大切だと考えておりますので、財政再建と地域経済活性化に、バランスを取りながら取組んでまいります。皆様方には、一層のご支援とご協力をよろしく願いいたします。

最後になりましたが、福岡貿易会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍とご健勝をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成22年度 会員交流会

当会恒例の年末交流会は、平成22年12月8日（水）、西鉄グランドホテルにて、第1部講演会・第2部懇談会の二部形式で、100名をこす来賓・会員の皆様に参加いただき開催いたしました。第1部の講演会（17:00～18:00）は、全体テーマを「辛亥革命から現在（いま）、これからの中国とどう向き合うか」とし、西日本新聞社傍系アジア室長と、アジアネット田中代表に講演をいただきました。

引き続き行われた第2部の懇談会（18:15～20:00）には、12月7日に就任されたばかりの高島宗一郎・福岡市長にかけつけていただき、木佐貫・九州経済産業局国際部長をはじめ、福岡県・福岡市並びに在福の海外公館等から多数の来賓が参加され、盛会に行うことができました。

第1部 講演会

(1) 西日本新聞社企画局アジア室長 傍系(かたみ)文昭氏 「辛亥革命から100年、孫文と九州」

(講演要旨)

- ・中国最大の革命である辛亥革命を主導した孫文は、58年の生涯のうち約9年間を日本で亡命、滞在生活をおくっている。
- ・宮崎滔天（熊本）、玄洋社の頭山満・平岡浩太郎（福岡）、安川敬一郎（福岡）、梅屋庄吉（長崎）等、孫文の革命を物心両面で支えた日本人の多くが実は「九州人」であったことはあまり知られていない。又炭坑王、政友会代議士、赤銅御殿（あかがねごてん）で知られている伊藤伝右衛門の再婚相手として嫁いだ華族、歌人の柳原白蓮が駆け落ちをし、世間を騒がせた宮崎龍介は宮崎滔天の長男であったことはもっと知られていない。
- ・中国と九州は、歴史的地理的に近いことは勿論であるが、気概、熱い気持ちも共通する面が多いのではないかと考えている。西日本新聞社では、平成23年に孫文プロジェクトとして、これらをテーマにキャンペーンを行う予定である。



(2) アジアネット代表 田中 豊氏 「ビジネス現場からこれからの中国を観る」

(講演要旨)

- ・貿易額、外貨準備高等々の指標は、中国を世界一とする数字が並ぶ。2010年度には長く経済大国2位の座を占めてきた日本を抜きGDPは世界第2位となる。
- ・これから、中国政府は、経済構造転換や格差問題、人口問題等著しい経済成長に伴う課題や、グローバルな視点から取り組むべき問題を抱えており、険しい舵取りを迫られることになる。
- ・長い中国との関わりやビジネス現場の経験から観ると、これまで日中間には様々な問題が起きてきたが、それを乗り越えて関係を深めてきた。今後も山あり谷ありの状況は続くと思われるが、日中のビジネス交流はさらに拡大していく。
- ・九州の中小企業の中国ビジネス進出には、日本の価値観・社会観では見えてこない中国ビジネス環境・背景への理解や、戦略性・論理的な展開を図ること等が不可欠。
- ・九州・福岡には「天時、地利、人和」が整っており、カー・シリコン・フードアイランドとしての認識が中国でも広まってきてはいるが、今後さらにサポート産業の厚み、地場企業の海外展開の遅れ、人材育成、海外への情報発信力の強化等取り組むべき課題も多い。
- ・福岡貿易会には、会員企業間連携の「梁山泊」としてこれらの課題に取り組むことを期待している。



第2部 懇談会



並田会長挨拶



高島・福岡市長挨拶



木佐貫・九州経済産業局国際部長挨拶



来賓紹介



角川副会長、乾杯の音頭



中締め挨拶

交流会スナップ



高島福岡市長との名刺交換



当日試飲した「福岡シティワイン」

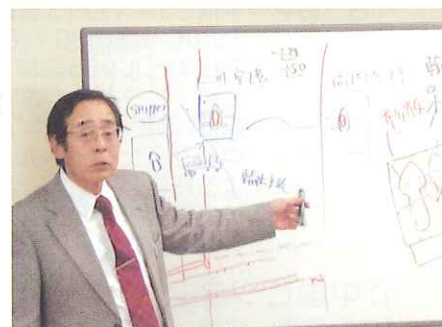
セミナー報告と今後の予定

●「貿易業務新任者フォローアップセミナー」

- <日 時> 平成22年12月15日(水) 14:00~16:30
 <ところ> 福岡商工会議所 6F 第 605会議室
 <講師> 山九(株)九州エリア開発営業部部長代理 松浦 遼 氏
 <内 容> 輸入手続きの迅速化について
 輸入を迅速に進めるための事例研究
 事例研究:韓国産松茸の輸入・アパレルの輸入等

参加者のことばより

- * 具体例が多く大変解りやすく、わかりやすいテキストだったため、今後業務で活用していきたいです。
- * 事例研究内でのテクニックやチェックポイントは新規の輸入案件がきた場合に良い参考になりました。



化粧箱入りマツタケも絵入りで、非常に現実的に分析します

●「中国語会話中級編」

- <日 時> 平成22年10月20日(水)~12月22日(水)
 19:00~20:30 全10回
 <ところ> 西日本ビル905会議室
 <講師> 北京・ニーハオ中国語センター
 講師 戦 麗華 氏
 <内 容> 簡単な自己紹介は中国語のできる方を対象にビジネスシーンで使える簡単な表現や、中国文化・マナーを学ぶ

参加者のことばより

- * 初めての参加でしたが、程々に緊張感が持て気持ちよく研修出来ました。
- * 毎週の宿題は大変でしたが習ったことが身に付いて良かったです。先生の“中国角”(中国文化などを紹介するコーナー)も、中国の習慣などを知ることが出来面白かったです。
- * 言語だけでなく、「中国」という文化も知ることが出来て、とても有意義な研修会でした。



最終日の発表会で、戦先生より最優秀賞を受け取り、「很高兴!」の受講者

事務局より

- * 4月から全くの初心者で始められた方が、楽しく学びながら中国語検定4級に合格されるなど素晴らしい上達なさいました。

●「韓国語会話初級編」

- <日 時> 平成22年9月27日(木)~12月20日(月)
 19:00~20:30 全12回
 <ところ> 西日本ビル905会議室
 <講師> 金 真紀 氏
 <内 容> ハングルの発音の変化や、活用形などを覚えながら、自己紹介や日常生活における簡単な会話を学ぶ。

参加者のことばより

- * 反復練習が足りず、直ぐ忘れてしまいます。でも単語は200語くらいは覚えたかも知れません。ゼロからのスタートでしたので感謝しています。(「初めての韓国語会話」から続けてご受講の方)
- * 毎週、先生や皆様とお会いするのが楽しみになるような講座でした。また韓国語の学習意欲もわき上がりました。
- * パッチムのリエゾンが、ㅁ + ㄴ = ㅇ미다 となることなど良く解りました。これからも勉強していきたいと考えております。



講座全体を引っ張ってくれたお二人、大奮闘の発表を笑顔で見つめる金先生

今後開催予定のセミナー (予定につき変更の可能性あります)

☆中国語会話上級編

<日 時> 平成23年1月13日(木)~3月17日(木)
19:00 ~ 20:30 全10回
<ところ> 西日本ビル905会議室
<講 師> 北京・ニーハオ中国語センター
講師 蔣 晶 氏
<内 容> 中級から上級レベルを対象とした中国語による授業。
商品事情・値段交渉・契約条件等よりビジネスに役立つ会話を練習します。

☆貿易実務講座(実践編)

<日 時> 平成23年1月27日(木)・28日(金)
10:00 ~ 17:00
<ところ> 福岡ビル9F 第5ホール
<講 師> ㈱アースリンク 代表取締役 曾我しのぶ氏
<内 容> 貿易実務担当者のブラッシュアップを目的に、貿易取引の流れの再確認・通関や代金回収に関する書類作成等。

☆中国ビジネスセミナー

【任国事情・法務・税務・労務・マーケティング】

<日 時> 平成23年2月22日(火)・23日(水)
9:30 ~ 16:30
<ところ> 福岡商工会議所6F 604会議室
<講 師> グローバル人材育成センター
国際ビジネスアドバイザー 仙波 慶子 氏
<内 容> 中国任国事情・法務・税務・労務・マーケティング

☆税関セミナー

<日 時> 平成23年3月8日(火) 14:30 ~ 16:30
<ところ> 福岡商工会議所6F 605会議室
<講 師> 門司税関 福岡空港税関支署
支署長 野畑 稔 氏 他1名

トピックス 「在日ラオス全権大使・ラオス留学生を囲む交流会」の開催

(福岡・ラオス友好協会主催)

平成22年10月18日、シートン大使、ラオスからの留学生10名をはじめ、中島在福岡ラオス名誉領事・九州経済産業局・福岡県・福岡市・商工会議所等のご来賓をお迎えし、「在日ラオス全権大使・ラオス留学生を囲む交流会」が開催されました。当日は、約70名の皆様に参加をされ、ビデオ「ほほえみあふれる国ラオス」の上映の後、懇談会が行われ、ラオスとの友好が深められました。この席で、ラオスへの教材を寄付する為に、出席された方々から協賛金が寄せられ、「たなぼた会」からの寄贈金と併せて、後日ラオスへ贈られました。

また、福岡・ラオス友好協会(会長;津田悦夫福岡貿易会副会長)では、本年2月8日からラオス友好訪問団を派遣される予定です。



津田会長 挨拶

シートン大使 挨拶



「九州・福岡と世界の貿易国・地域 ①」 — 台湾 —

寄稿 九州と台湾の経済交流拡大に向けて

台湾貿易センター福岡事務所 所長 林俊杰



台湾貿易センター福岡事務所に着任してから早くも3年9ヶ月が経った。福岡へ来てからは、九州と台湾との歴史的繋がりや地理的環境の類似性に驚きと発見の毎日である。ご存じないかもしれないが、台湾では「うどん」のことを「烏龍(うるん)麵」と言う。なぜうどんであるのかずっと疑問を抱いていたが、ここへ来てからうるんは博多弁だとわかり、驚いたと同時に親しみも感じた。

面白いことに、九州と台湾には複数の共通点がある。まず面積がほぼ同じである。九州が42,165km²、台湾が36,188km²、また、九州、台湾ともに北部に中心都市(福岡、台北)、中部、南部にそれぞれ主要都市(中部:熊本、台中 南部:鹿児島、高雄)、中央に山脈を有する。台湾では2007年に南北を結ぶ新幹線が開通したが、九州においても2011年3月に九州新幹線鹿児島ルートが開通予定である。これにより、九州、台湾ともに南北の都市を行き来する主要交通手段及び時間はほぼ同じとなる。このように、都市配置バランス、自然、交通等多くの共通点が見られるが、経済活動に注目すると、両者のGDPもほぼ同等である。中でも最も重要な共通点は主要産業で、半導体業界において台湾は世界の主要プレーヤーであり、フラットパネルディスプレイ(FPD)産業もここ数年急速な発展を遂げ、台湾の中核産業へと成長した。九州ではIC産業、自動車産業が1兆円規模に達する主要産業となっている。

日台の貿易関係を見てみると、日本は台湾にとって中国に次ぐ第二の貿易相手国であり、日本からの輸入は最も多く、輸入額全体の約5分の1を占める。台湾も日本にとって第四の貿易相手国であり、長年にわたり非常に緊密な関係が続いている。ただ一つ残念なことは、九州・台湾間の貿易の比重がまだまだ低く、活発と

は言えないことである。2009年の九州経済圏(山口県、九州、沖縄県)の台湾への輸出は全体の5.4%、台湾からの輸入は全体の2.6%にすぎない。

次に、台湾と中国における近年の経済交流についてお話したいと思う。2008年5月に台湾で発足した馬英九政権による中国・台湾間の経済協力政策により、2009年9月からの中台間直行便の定期便化の開始や、双方の投資規制緩和が進んだことを受け、中台間での人的交流、物流及び資金交流が急速に活発になった。さらに2010年6月には兩岸経済協力枠組協定(以下ECFA)が正式に締結され、双方で合計806品目の関税を2013年までに撤廃することを前提に、現在段階的な関税の引き下げが進められており、今後中台間の貿易額はより一層拡大すると見込まれている。

中台経済関係の緊密化に対する捉え方は様々で、中国市場で日本と台湾が競合するのではとの懸念もあるが、日本企業にはぜひ台湾企業を利用して中国市場へ進出、拡大できるチャンスだと思ってほしい。台湾は日本と中国の間に位置し、中台間は空運、海運とも距離が短い。また、台湾人は中国人と同じ言葉と文化を共有しているため、日本人よりも中国人に対する折衝能力が高く、日本企業にとっては直接中国企業とビジネスを行うよりも、台湾企業とアライアンスを組んで行ったほうがスムーズに行くことの方が多いのである。

台湾貿易センター福岡事務所では、九州と台湾の貿易や投資に関するトータルサービスを提供し、両者に貢献したいと考えている。新しいサービスの一つとして、オンライン上で台湾企業と商談を行う「ウェブ商談会」も始めたばかりなので、興味のある福貿会の会員企業の方は気軽に利用していただきたい。

<台湾貿易センター福岡事務所>

所在地: 福岡市博多区博多駅前2-9-28

福岡商工会議所7F

(福岡貿易会の隣です。)

電話: 092-472-7461

FAX: 092-472-7463


E-mail: fukuoka@taitra.org.tw

URL: http://www.taitra.gr.jp





スタッフの皆さん

会員企業紹介

◆会員名	韓国大田市福岡通商事務所			
◆代表者役職氏名	所長 玄 奇億 (ヒョン キョク)			
◆所在地	福岡市中央区港 1-9-22			
◆TEL	092-713-0960	◆FAX	092-713-0961	
		◆MAIL	henki@its.daejeon.kr	
◆主要業務	○大田の優秀商品紹介及び九州の優秀商品を大田に紹介 ○九州地域企業の大田投資斡旋 ○上記に関わる大田 - 九州交流に関する中間連絡代行			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	○韓国大田広域市福岡通商事務所は - 大田 - 九州経済交流活性化を支援するために2009年7月韓国大田広域市役所が設置致しました。 - 現在韓国大田広域市役所から派遣された公務員が所長として勤めております。 ○したがって韓国大田への投資または大田優秀商品に関心がある方はいつでも気軽に電話、メールまたは訪問等を通じてご利用ください。			

◆会員名	HONEY MARKS 合同会社			
◆役員	代表社員 高松 理恵			
◆所在地	福岡市博多区博多駅前 4-13-27-808			
◆TEL	092-451-9470	◆FAX	092-409-7733	
◆URL	http://www.honeymarks.com	◆MAIL	mail@honeymarks.com	
◆主要業務	ニューージーランドのマヌカハニー、コムハニー等の蜂蜜の小売、卸売りをはじめ、プライダルギフトやホテルオリジナルのアメニティスイーツ、また、オリジナリティを考慮したノベルティなどの商品開発やデザイン提案			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	2006年12月に主婦二人で創業。HONEY MARKSの原点はマヌカハニーです。マヌカハニー＝本物のハチミツは、さまざまなことを私たちに教えてくれました。「本物だけが持つ力」。ハチミツだけに限らず、口にするもの、身につけるものなど、私たちが生活していく上で必要なキーワードだということを痛感。私たちは、マヌカハニーから学んだ知識と経験を生かし、ハチミツだけではなく、上質で安全で、「自分も使いたい、あの人にもプレゼントしたい」と思っただけのような本当によいものだけを、心を込めてお届けします。また、2010年7月に教育部門としてHoney Marks Collegeを立ち上げ、貿易実務、英語教育等の人材教育にも力を入れております。			

◆会員名	株式会社 平尾運送			
◆代表者役職氏名	代表取締役 待鳥 吉久			
◆所在地	福岡市東区原田 3-6-5			
◆TEL	092-626-0926	◆FAX	092-626-0936	
◆主要業務	コンテナ輸送			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	弊社はまだ外国貨物の取扱い経験が浅いので皆様方にいろいろ教えて頂きたいです。皆さまよろしくお祈いします。			

福岡貿易会事務所

〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
 福岡商工会議所ビル7F
 TEL:(092)452-0707 FAX:(092)452-0700
 E-MAIL:info@fukuoka-fta.or.jp
 ホームページ http://www.fukuoka-fta.or.jp/

上海事務所

中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路398号 世紀巴士大廈9階
 TEL:+86-21-6385-8815 FAX:+86-21-6385-8806
 E-MAIL:fukuoka-city@fukuokash.com.cn

発行・編集/ 社団法人 福岡貿易会
 デザイン・印刷/ (株)西日本高速印刷



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用しています。
 また、大豆油インキを使用しております。